

# 阿蘇医療センターの方針について

の連携強化を図ってまいります。



田中弘子

## ICTの方向性について

**田中** 学校授業情報通信技術（ICT）の方向性について

**田中** 阿蘇医療センターの今後の方針だが、8月6日の開院に向け、これまで特に脳疾患や心疾患により、阿蘇市から20億〜30億とも言われる医療費が流出していると言われているが、どう捉えているか。また、個人医院との連携はどう考えているか。

**井野病院事務局長** 二次医療救急体制の再生ということ、今までは重症の患者さんの約7割が熊本・菊池医療圏域に搬送されてきました。以前調査したところ、国保と後期高齢加入者の分で42億8000万円ほどの医療費が阿蘇医療圏から流出していました。新病院は、これら救命に一刻を争う疾患の対応が出来るように医療機能を整備することが目的となっています。また、新病院の立ち位置として急性期の患者様を受け止め、回復期に転じたら病棟連携・病診連携で、圏域内のクリニック及び病院の先生に診て頂く地域医療連携システムを構築していきます。さらに地域完結型医療の推進として、阿蘇郡市医師会・歯科医師会・薬剤師会、他の医療機関・施設等と



(新) 阿蘇医療センター

平成26年度に2クラスに1台、全体で77台程全小中学校に導入を予定しております。28年4月からは、全クラスに1台ずつ設置予定です。電子黒板を取り入れての授業については、これまでどおりの授業をしながら、ポイント、ポイントで、動画他いろいろな資料を見せながら授業を行うものです。将来的には、タブレットの導入も出来ればと思っておりますが、まずは、先生方が電子黒板での授業が展開できるように研修会を開催していきたいと思っております。タブレット導入の最大のメリットと申しますか、将来的には生徒一人ひとりの宿題の状況、回答の正誤等も把握できるようなどころまで進んでいくのではないかと考えております。ただし、インターネットネットワーク回線に通じていますので、情報モラル教育も必要と考えられております。

# 若者の定住化に向けた取組について



園田 浩文

**園田** 阿蘇市の生産人口（15〜64才まで）の動態統計は。

**橋本市民課長** 2010年の国勢調査では、1万5912人です。国の推計によりますと、2020年には約1万3040人で2872人（18%）の減少となる見込みです。

**園田** 人口減少の取り組みの中で「婚活事業」の支援の実態は。

**山口福祉課長** 現在市としては取り組んでいませんが、社会福祉協議会の方で取組んでいます。本年5月までに10回程お見合いイベントを実施、成立した組数27組、内3組は結婚されています。

**園田** 近隣の自治体でも庁舎、役場内に婚活事業の窓口の設置がされている。阿蘇市でも庁舎内に窓口の設置は出来ないか。

**佐藤市民部長** 情報提供の窓口の設置は、住民の方々が地域に誇りを持ち安心して暮らせるように、総合的にサポートしていくのが、行政の仕事でありますので、今後十分に協

議を重ねてまいりたいと思います。

**園田** 25年度も38組のカップルが阿蘇市内で結婚式を挙げられている。阿蘇市内で式を挙げ、阿蘇に残り、子育てを行うとする若者には、行政が挙式の費用の一部を負担する等、若者の定住化に少しでもつながるような政策は出来ないか。

**佐藤市長** 私は定住化のためには働く場所の確保が一番であると思っております。併せて、子育て支援や、教育環境の充実をしつかりと進めることが重要であります。結婚は周りの人があたたかくお祝いをして頂くことで良いのではないかと考えています。

## 内牧商店街の今後について

**園田** 内牧（旧夜霧跡地）のトイレだが、犯罪の抑止の面から、防犯・監視カメラの設置は出来ないか。

**吉良観光まちづくり課長** 警察からの要望もあり、考えてまいると思います。



旧夜霧跡地のトイレ

## 拡大する森林被害対策は



大倉 幸也

うことはなく、消毒も環境的に出来ないということですが、今後間伐を進めながら、対策を取っていききたいと思っています。

**渡邊経済部長** 枯れて赤くなっている所がはっきり見えて心配されていると思われしますので、今後、地元の方長さんたちに説明をし、対策を取っていききたいと思っています。

### 梅雨期に入って道路の点検整備は

**大倉** 幹線道路等の工事のできていない荒れた部分の穴ぼこに車が落ちて、タイヤ等を損傷する報告が後を絶たないが、事故が起こる前に早めの対策を。

**井建設課長** 確かによけて通らなくてはならないようなところがありますので、管理は行っていききたいと思えます。



スギハマキの成虫

県の方にも連絡をしまして、林業研究所からの調査が行われました。結果として、スギハマキの幼虫であるということですが、年に二回の発生があり、幼虫の時に杉の葉を食害し蛾になります。2〜3年で終息するということですが、

**大倉** 年に2回発生するというのが、消毒等の対策は。

**農政課長** 木が枯れてしまうとい

## 中央病院跡地利用について



谷崎 利浩

われます。

**谷崎** 高齢者福祉施設としては、岩下ほけん課長 特別養護老人ホームの必要性については、これから第六期を作成していきますので、待機者の数、施設設備の必要性を検討していきますが、料金も結構かかります。地域密着型の29床の施設で毎年一億円以上が介護保険から給付されています。

**谷崎** 市長の方から構想なり方向性なりを示しては。

**佐藤市長** 遊休地利用に関する庁舎内検討会において協議することとしております。私の方から方向性を示しますと多方面からの議論が出来るなくなる可能性もありますので、発言は謹ませていただきます。

他に、「道の駅から小学校までの駐車場問題」、「駅周辺都市計画プランについて」の質問がありました。

**谷崎** 再利用と地元からの要望は。診断はするのか。建物はどうするのか。解体撤去します。残る建物は4階建て病棟と隣接の2階建て感染症病棟の2棟です。病院の方で耐震診断はしません。病棟の建築確認は昭和55年11月27日となっておりますので、旧耐震基準で建てられた建物です。活用方法検討の中で耐震診断の必要性は出てくると思われれます。

**宮崎財政課長** 正式なものではありませんが、いくつかの要望は聞いております。まず、今後跡地の方向性を決める検討委員会を行う予定です。その後、利活用内容により土地を担当課の方に所管替えします。また、仮に事業を行う場合には、多額の資金が必要な場合もありますので、国の補助金申請のため、計画書の作成が必要となる状況があり得ます。その場合には、地域や各種関係機関を含めた協議が必要になると思



撤去予定の診療棟

# 一の宮中校区統合小学校建設及び管内小中学校へのICT教育について



市原 正

**市原** 一の宮中学校区統合小学校の建設については、平成28年4月の開校に間に合うのか、その進捗状況について説明を求めた。

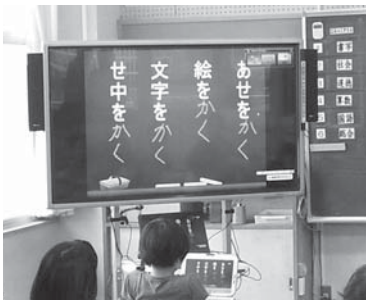
**日田教育課長** 現在農地の転用手続きと、所有権移転登記を行っておりますが、6月いっぱいもしくは7月上旬には完了し、それから工事着手になります。工事着手関係につきましては、資料にありますように、現在の中学校のグラウンドに比べて、サッカー、陸上、野球、ソフトボール、テニスとそれぞれ単独で使用可能になります。現グラウンドについては、統合小学校及び体育館を建設し、残りをグラウンドということで整備していきたいということで計画しております。全ての工事を27年度内に完成させる予定であります。

**市原** スクールバスの利用については、文科省の4km以上の基準があるが、教育部としてはどう考えているのか。

**教育課長** 議員がおっしゃられるように、小学校の遠距離通学につきましては、スクールバスの利用は文科省の基準が4km以上となっておりますが、統合により通学距離の著しく変動する児童も多いという状況で、概ね3〜4kmの間で基準を緩和して、運用を検討しております。今後統合準備委員会を設置しますので、その中の通学部会でさらに検討していくこととなります。

**市原** 6月10日から熊日新聞の「未来教室」で連載されたICT教育については、阿蘇市も今年度から電子黒板を導入する。それに伴い議会文教厚生常任委員会で、山江村の山田小学校に先進地視察研修を行ったが、有意義な視察であった。保護者等の視察を計画してはどうか。

**教育課長** 電子黒板の授業にあたる先生方の研修と学校長とPTA連絡協議会の役員の方々の連携しての視察計画を進めております。



電子黒板

## 全国市議会議長会表彰受賞者



高宮正行議員

高宮今朝秀議員

井手明廣議員

第90回全国市議会議長会が、本年5月28日、東京都日比谷公会堂において開催され、全国市議会議長会表彰規定に基づき、表彰が行われ、その伝達が今回の定例会において議長より行われました。

今回表彰を受けられました方々（右写真3名）は、平成17年2月の町村合併以前の町議会議員の勤続年数の2分の1と合併後の勤続年数を併せて、市議会議員として10年を経過したことになり、地方自治の発展と振興に貢献された功績に対し表彰されたものです。

### 【表彰規定】

10年以上市議会議員の職にある者（町村合併により市政を施行した町村の議員の勤務年数は、2分の1を市議会議員の勤務年数とし、3年以上市議会議員であること。）

# 平成26年第3回臨時会 —経過と結果の報告—

平成26年7月10日午前10時より、第3回臨時会が行われました。その主な審議の経過と結果は次のとおりです。

## 議案第66号 工事請負契約の締結について

### 一、契約の目的

池尻団地D棟建築工事

### 二、契約方法

指名競争入札

### 三、契約金額（税込）

1億9,872万円

（落札率98.72%）

### 四、契約相手方

吉永・紅屋・帯屋・

森建設工事共同企業体

（代）株式会社 吉永産業

代表取締役 吉永隆夫

**問** 入居予定数と被災者の入居

希望数はどのくらいか。

**答** 今回建設の戸数は10戸で、

仮設住宅入居者の方々にも募集をかけております。今のところ5〜6戸の入居希望があつて

おりますので、希望に沿うように考えており、年度内の完成を

目指しております。

**問** 公営住宅の全住宅に占める

妥当な割合は10%以内と記憶

している。希望に沿って建設することは、民間の賃貸住宅もある訳で、その点は、どう考えているか。

**答** 他自治体に比べて、かなり公

営住宅の数が多い状況です。これから先財政状況等、後々の維持管理の面も考慮して、検討

します。

以上のような審議を経た結果、本案は原案のとおり、可決と決定いたしました。

## 議案第67号 工事請負契約の締結について

### 一、契約の目的

阿蘇市公共下水道阿蘇市

浄化センターの建築工事

### 二、契約方法

随意契約

### 三、契約金額

2億2,010万円

### 四、契約相手方

日本下水道事業団

代表 理事長 谷戸善彦

本案については、審議の結果、原案のとおり可決と決定いたしました。

## 議案第68号 財産の交換について

本件は、市道の所有権移転登記のための土地交換契約について、地法自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決を得る必要があるという土木部長の補足説明があり、審議の結果、原案のとおり可決と決定いたしました。

## 阿蘇市農業委員会 委員（4名）の推薦について

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第12条第2号の規定による議会推薦の農業委員に全会一致で次の方々を推薦することに決定いたしました。

| 地 区   | 氏名（敬称略）               |
|-------|-----------------------|
| 一の宮地区 | 山本 利幸                 |
| 阿蘇地区  | 猪島 敏治                 |
| 阿蘇地区  | 緒方 洋子                 |
| 波野地区  | 天艸 <sup>あまくさ</sup> 晴夫 |

